

ぎゅと心をだきしめる

城西小学校 五年 前原 奈々

まえはら

なな

私は小学五年生の今、時々、友達とうまく
行かない時があります。よく、他の友達と仲
よくしていると急に親友の子がにげたりぶ
い、と顔を反対にしたりします。そのな時と
ても悲しかったり、一人ぼっちの気分になっ
て心にトゲが生えてきていいわるな気分にな
るのだと思います。

私には中学生のお兄ちゃん、同じ年のふ

のお姉ちゃんがいます。家ではお姉ちゃん
けんかばかりしています。おたがいに言いた
い事を言い合ったり、ゆずがなかったり本気
でぶつかり合っています。お姉ちゃんの事は
大好きだけど、けんかする時はきらいだなと
思っています。そんな時はど人ど人自分
がいやな人間になって行く気分です。でも、
お母さんの所に行くといぎゅとだきしめ
てくれます。逆におこされる時もあるけど、
ぎゅとしてくれるととてもほっとします。

社会の中でも、心にトゲができて
 しょうな人やトゲができてしまっ
 た人を、ぎゅとして宥めるからき
 っと非行や、は人ざいもなく
 なると思います。本当にだま
 しめる事はむずかしいと思う
 けど、せめて、心が、ぎゅっ
 としてもらえる。朝、学校に
 た気分になればいいと思います。
 行く時や帰る時などに地域の
 人が笑顔で、おはよう、とか、
 何か、おかえり、とか、どう
 したの？、レ、だいじょうぶ？、
 レ、とか言っ、てく木たさ

う水いのです。
 一、きんを非行や、は人ざい
 をする人は、一、いぼっちの
 気分が悲しいはねです。家庭
 の中から地域へ、地域から社
 会へ、って、ぎゅっ、レ、の
 輪を広げて行けようになっ
 た、ぎゅい、いなと思っ
 ます。

私たち子どもにできる事は、
 学ぶ事です。悪いことをした
 ぐいけないの、は、子どもで
 も分かります。どうしていい
 けないのか、それは、ま
 ず、つく人がいるから
 です。だから、それを、ま

つけてしまった。自分に返ってきます。私は
お姉ちゃんとか人かして悪い事を言ったり
おこたりした後、自分がいやな気分になり
ます。自分がキライになります。だけど、仲
よくしたりやさしくできたりした時の自分は
好きです。悪い事をした。自分がいやな気
分になるのは、ざいあく感。だそうです。ざ
いあく感。ほとんど人。自分をいやな人間に
しこします。だから悪いことをしこはい
けない。と学んでいけば、大人になった時に

今度は地域の子どもに対して、心をぎゅ
とだきしめられるはずで。先生やお母さんは悪いことをした。おこります。地いむの人や知らない大人でも、子
どもが悪いことをした。見ないふりしたり
めんどうだ、関係ない、と思わずに注意する
ことも大事だと思います。子どものうちから
良い事と悪い事を知っておきたいです。
私はまず今日から、お姉ちゃんとか人を

し
ない
ように、
お知
ちゃんを
お
4
1、
と

だ
きし
め
ます。

1
5
10
15
20